

◎ニトロペン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ニトログリセリン (U) nitroglycerin 【分類】 狭心症用舌下錠

【単位】 ◎0.3mg/錠

【常用量】 0.3～0.6mg/回

【用法】 舌下投与

■狭心症への適用時の注意

血圧が下がり、めまい、失神、転倒のおそれがあり、座位か臥位で使用

数分で効果をあらわすが、効果が現れない場合にはさらに1～2錠追加投与

1回の発作に3錠まで使用しても無効の場合、発作が15～20分以上持続する場合は、直ちに診察を受ける

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (3,6)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (3)

【特徴】 血管平滑筋を直接弛緩させる。舌下投与は吸収が早く、高い血中濃度が得られることから、狭心症の緩解に適している。舌下では肝を通過しないため、肝における代謝の影響を受けずに直接循環系に移行する。

【主な副作用・毒性】 頭痛

【F】 経口 1%以下、舌下 38% (13) 舌下 40% (15)

【tmax】 4min (1) 3min (11) 5.4min (13) 【Cmax】 0.4mg を舌下投与時 1.9ng/mL (13)

【代謝】 肝代謝。dinitrate 代謝物は nitroglycerin の 10%以下の活性があるが、t1/2 が 40min 程度に延長するため、徐放製剤にすると親化合物の 20 倍以上の濃度になる (13)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1%以下 (12,13) 【CL】 21L/min (10) 230mL/min/kg (15) 196mL/min/kg (13) 28.0L/min [舌下] (1)

【t1/2】 3min (10) 2.3min (13,15) 2～4min (12) 【透析患者の t1/2】 2～4min (1)

【蛋白結合率】 60% (1,11)

【Vd】 3.3L/kg (13) 2～3L/kg (12) 179.6L/man [舌下] (1)

【MW】 227.09

【透析性】 脂溶性が高く Vd も大きいため、透析では除去されにくいと思われる (5) 資料なし (1)

【TDM のポイント】 有効血中濃度域 1.2～11ng/mL (15) TDM の対象にならない 【O/W 係数】 高い (11)

【相互作用】 PDE5 阻害剤との併用禁忌 (1)

【更新日】 20210308

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。